

第2章

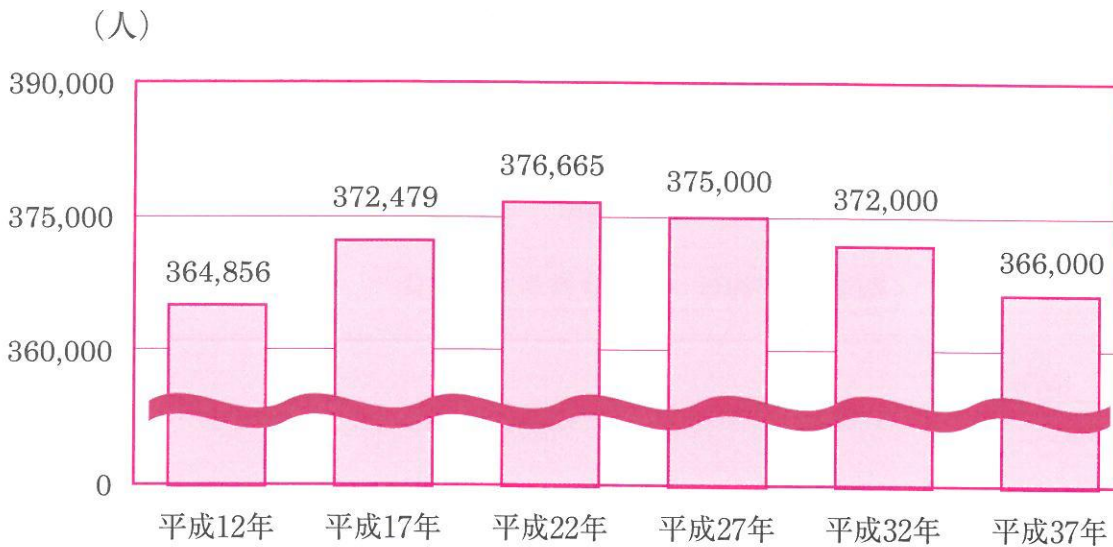
豊橋市の現状

第2章 豊橋市の現状

1 人口の状況

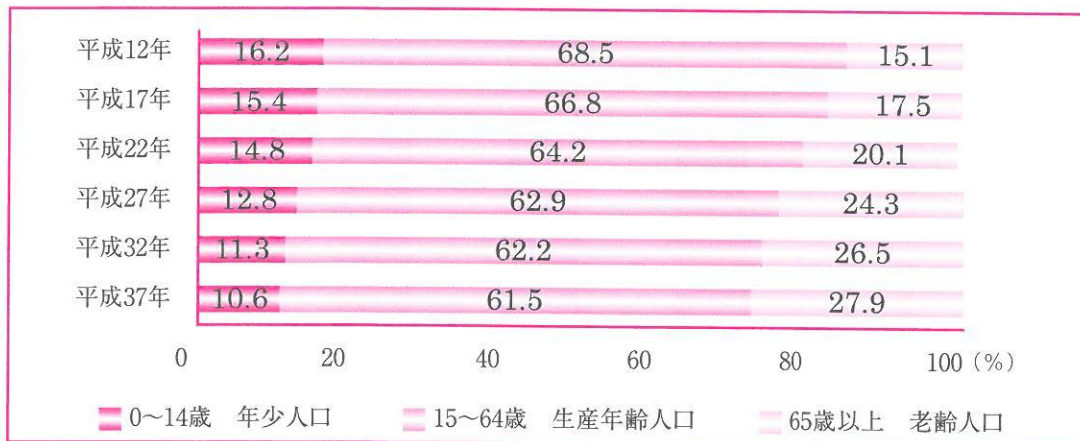
本市の人口は、ここ数年、ほぼ横ばいの状況となっていますが、今後は少子化の影響で減少すると予測されています。年齢階層別人口においても、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）が減少していく一方、老年人口（65歳以上）の割合は増加し続け、平成27年以降には65歳以上の人口割合が21%以上となる超高齢社会へ進展していくと予測されています。

■ 図1：人口推移と推計



出典：国勢調査 平成27年以降は（第5次豊橋市総合計画）人口推計による推計値

■ 図2：年齢階級別（3区分）人口構成比の推移と推計

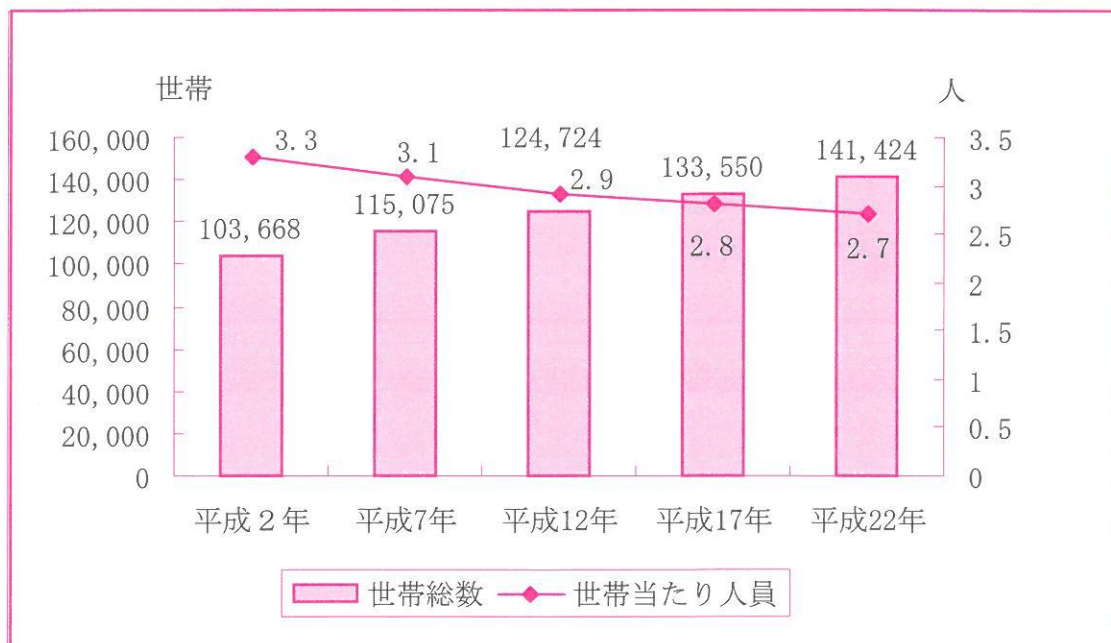


出典：国勢調査 平成27年以降は（第5次豊橋市総合計画）人口推計による推計値

小数点以下第2位を四捨五入して算出したため、個々の値の合計が100にならない場合があります。

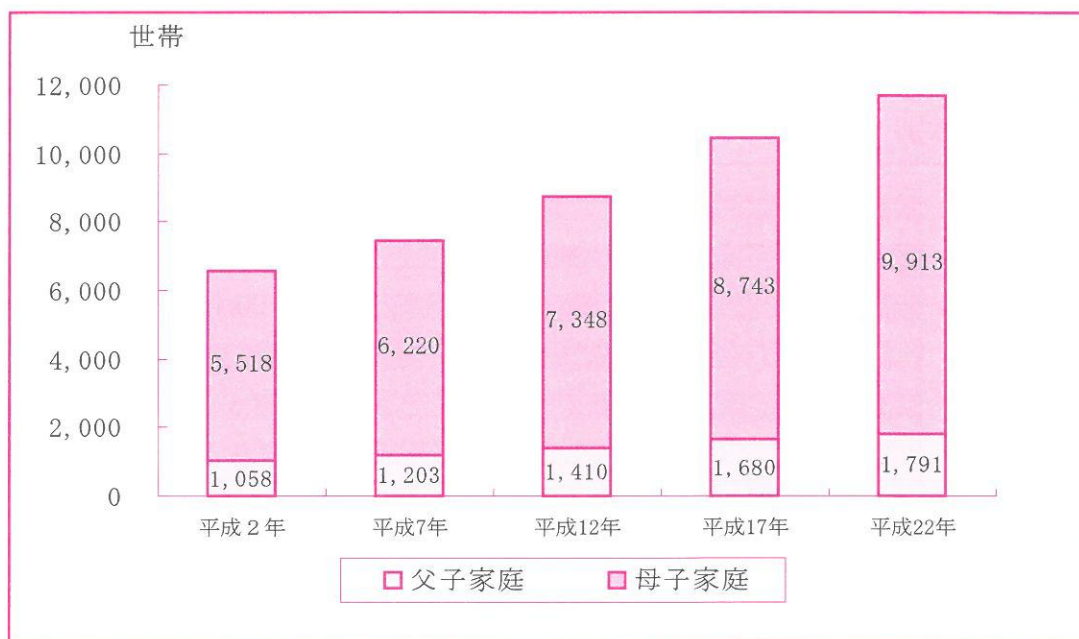
豊橋市全体の世帯数は増加しており、平成22年には141,424世帯です。ひとり親世帯が年々増加し、平成12年からの10年間で1.3倍になっています。

■ 図 3 : 世帯総数と世帯人員の推移



出典：国勢調査

■ 図 4 : ひとり親世帯の推移



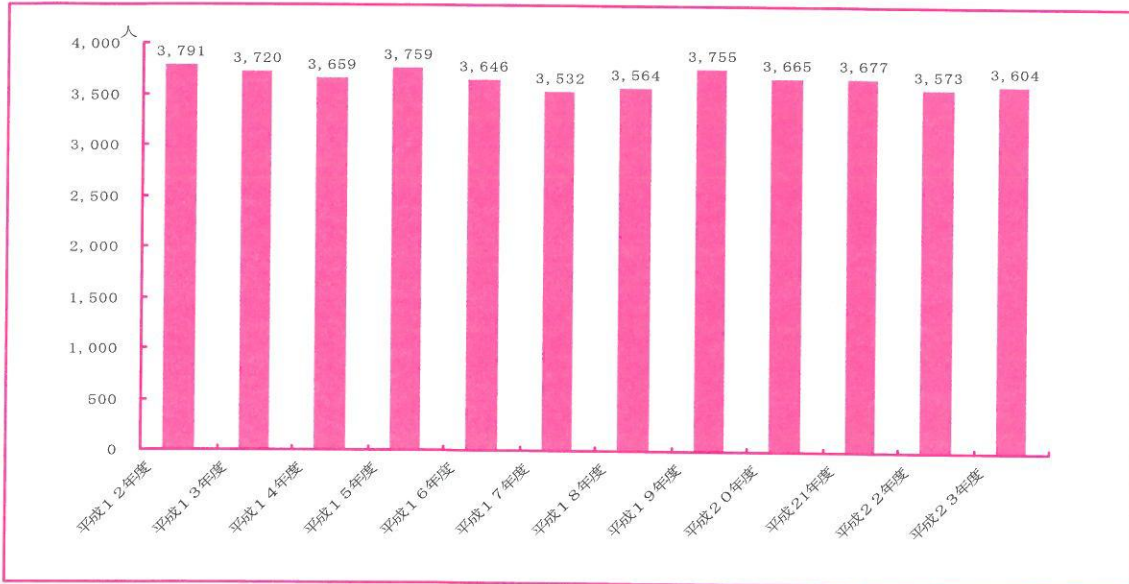
出典：国勢調査

2 出生

出生数の推移については、平成20年以降ほぼ横ばいの状況で、3,500～3,600 人前後で推移しています。

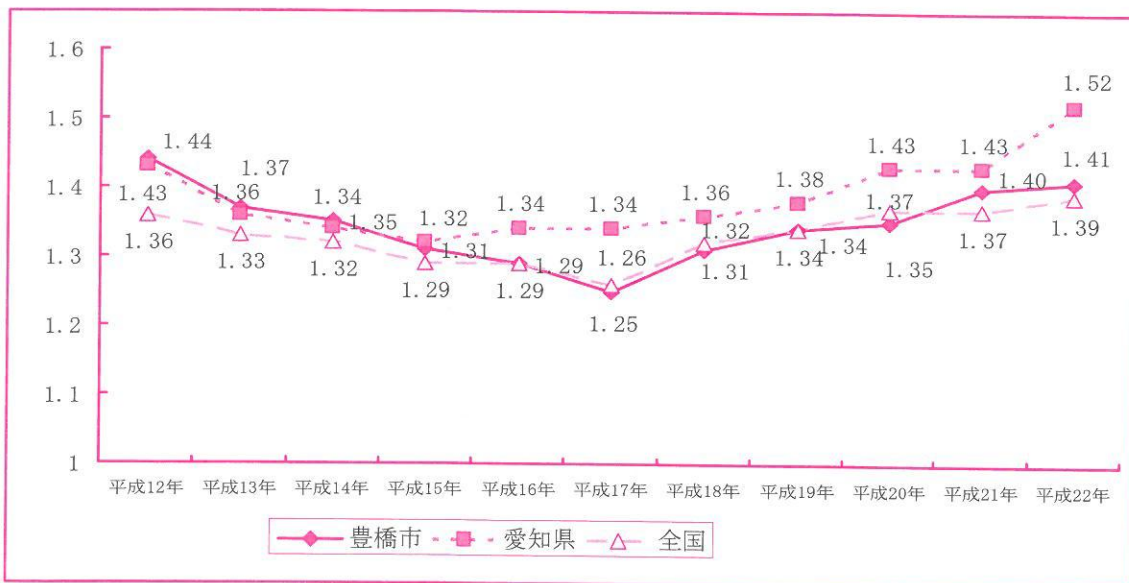
また、本市の合計特殊出生率*をみると、平成17年以降は国、県と同様に増加していますが、将来人口が増加するための2.10程度を下回っており、今後の情勢は不透明な状態です。

■ 図5：出生数の推移



出典：住民基本台帳

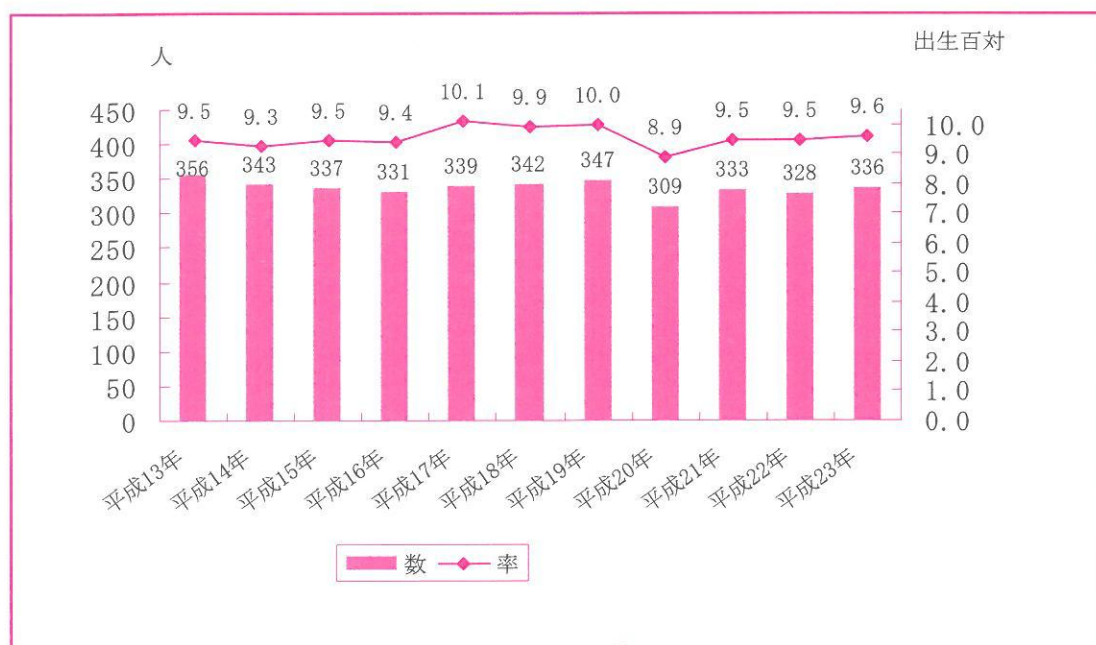
■ 図6：合計特殊出生率の推移



出典：全国、愛知県は「人口動態統計」 豊橋市は保健所健康政策課（外国人含む）

*「合計特殊出生率」とは、1人の女性が一生に産む子どもの平均数

■ 図 7 : 低出生体重児出生数と低出生体重児出生率の推移

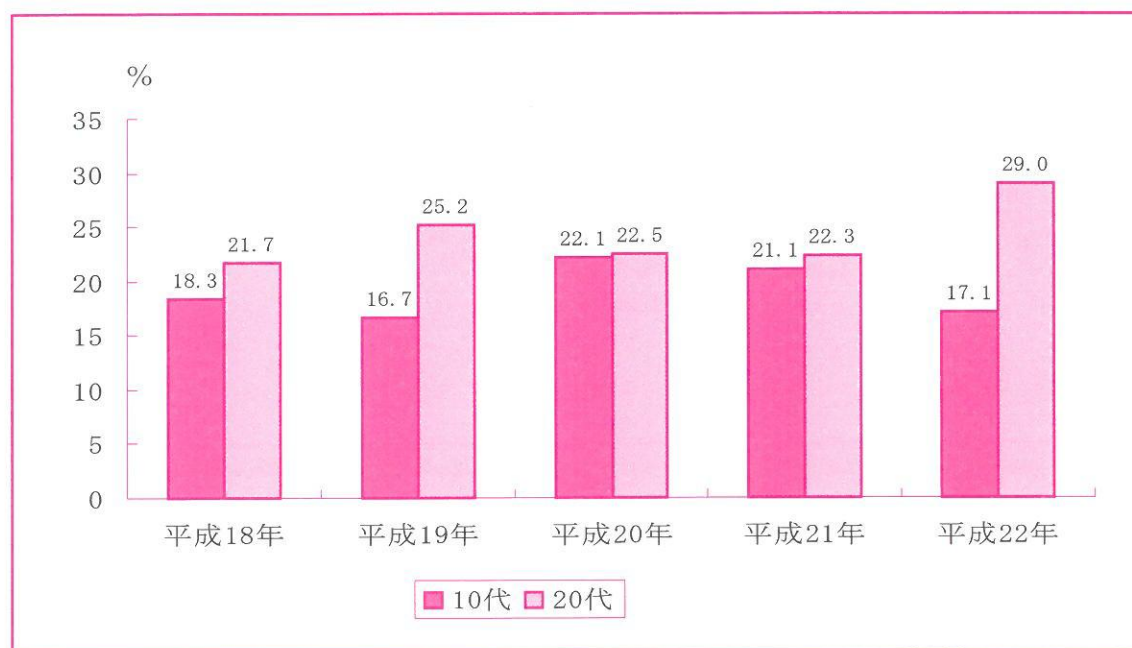


出典：愛知県衛生年報

3 女性の体格の現状

女性のやせ*の者の割合は、近年 5 年間では 10 代は 20%前後で推移、20 代は 20%を超えており、平成 22 年では 29%を占めています。妊娠まえの母親のやせは、低出生体重児の要因の一つとして考えられていることから、思春期の頃から改善を進める必要があります。

■ 図 8 : 女性の体格（やせ）の推移（全国）

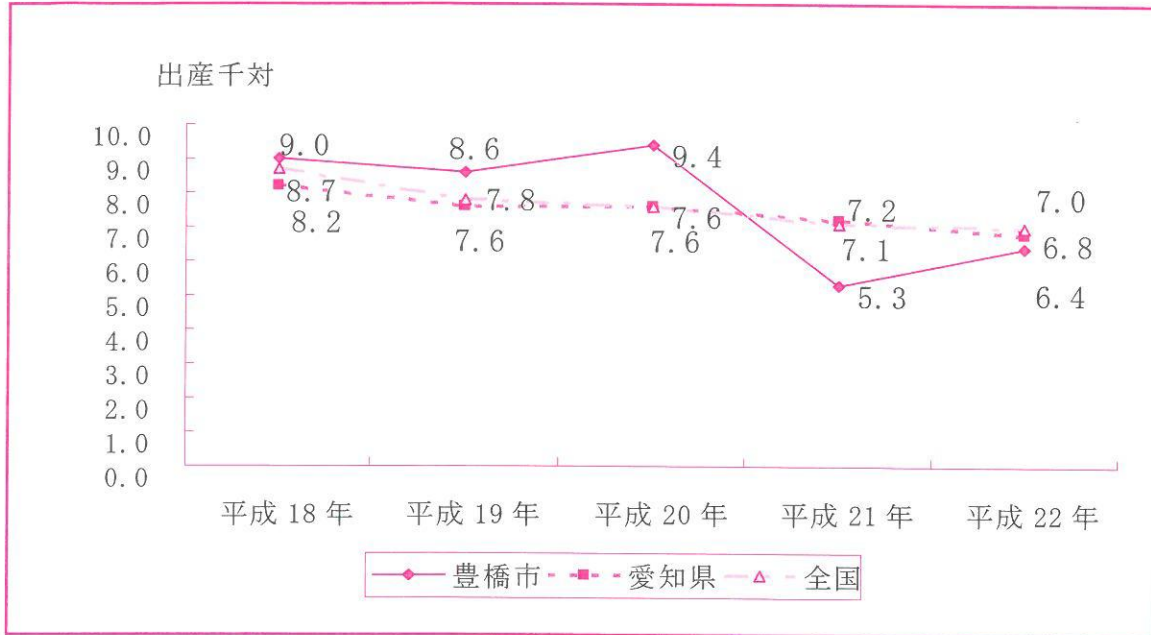


出典：国民健康栄養調査

4 人工妊娠中絶実施率*・周産期*死亡率

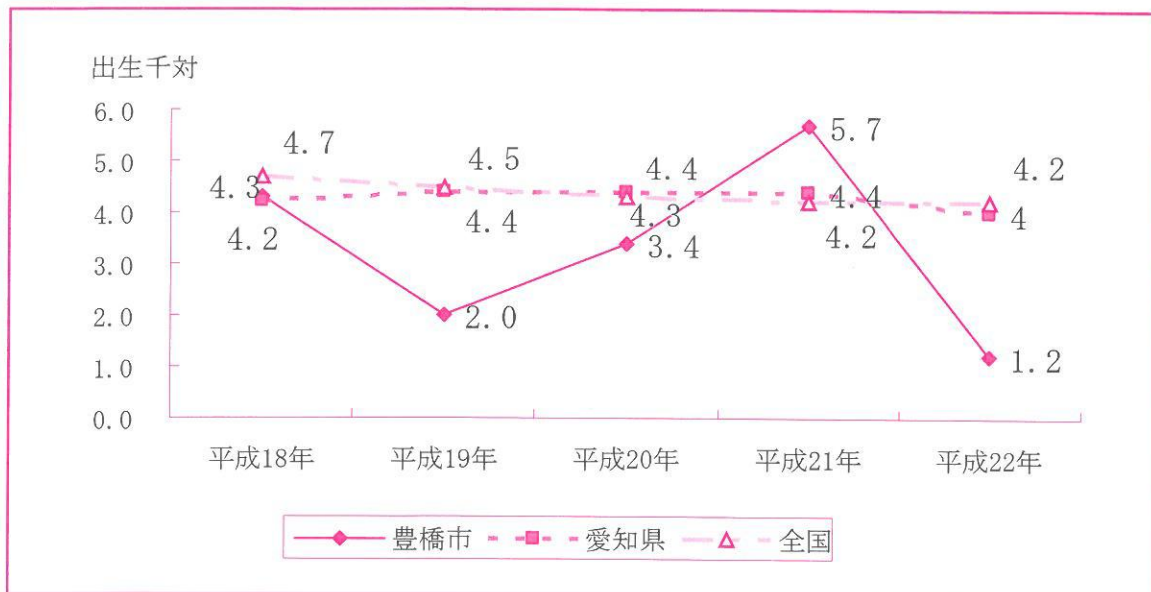
人工妊娠中絶実施率は、国、県ともに減少しており、豊橋市も平成20年に一旦増加しましたが、平成21年には減少し、平成22年には6.4と国、県と比較しても低い値になっています。

■ 図9：10代の人工妊娠中絶実施率



出典：愛知県衛生年報

■ 図10：周産期死亡率



出典：愛知県衛生年報

※周産期死亡率：（妊娠満22週以降の死産数＋早期新生児死亡数）÷1年間の出生数

